


# 2022年3月期 中間決算説明資料

フクシマガリレイ株式会社



ガリレオは、  
世界を変えた。  
ガリレイは、  
暮らしを変える。

産地と食卓を結ぶ“食のライフライン”に、  
イノベーションを。



# いつでもどこでも 食の安全・安心を

私たちは「食」に関わるビジネスに携わるものとして、安全・安心な食の提供を何よりも優先し、すべての人の豊かな食生活の実現に貢献していく。これまで培ってきた「安全・安心技術」を、日本はもとより世界へ広くお届けしていく。「食」を通じて社会を明るく元気にすることが私たちの使命である。（食の安全・安心）

## フクシマガリレイ株式会社

FUKUSHIMA GALILEI CO.LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役社長 福島 裕

資本金:27億6千万円

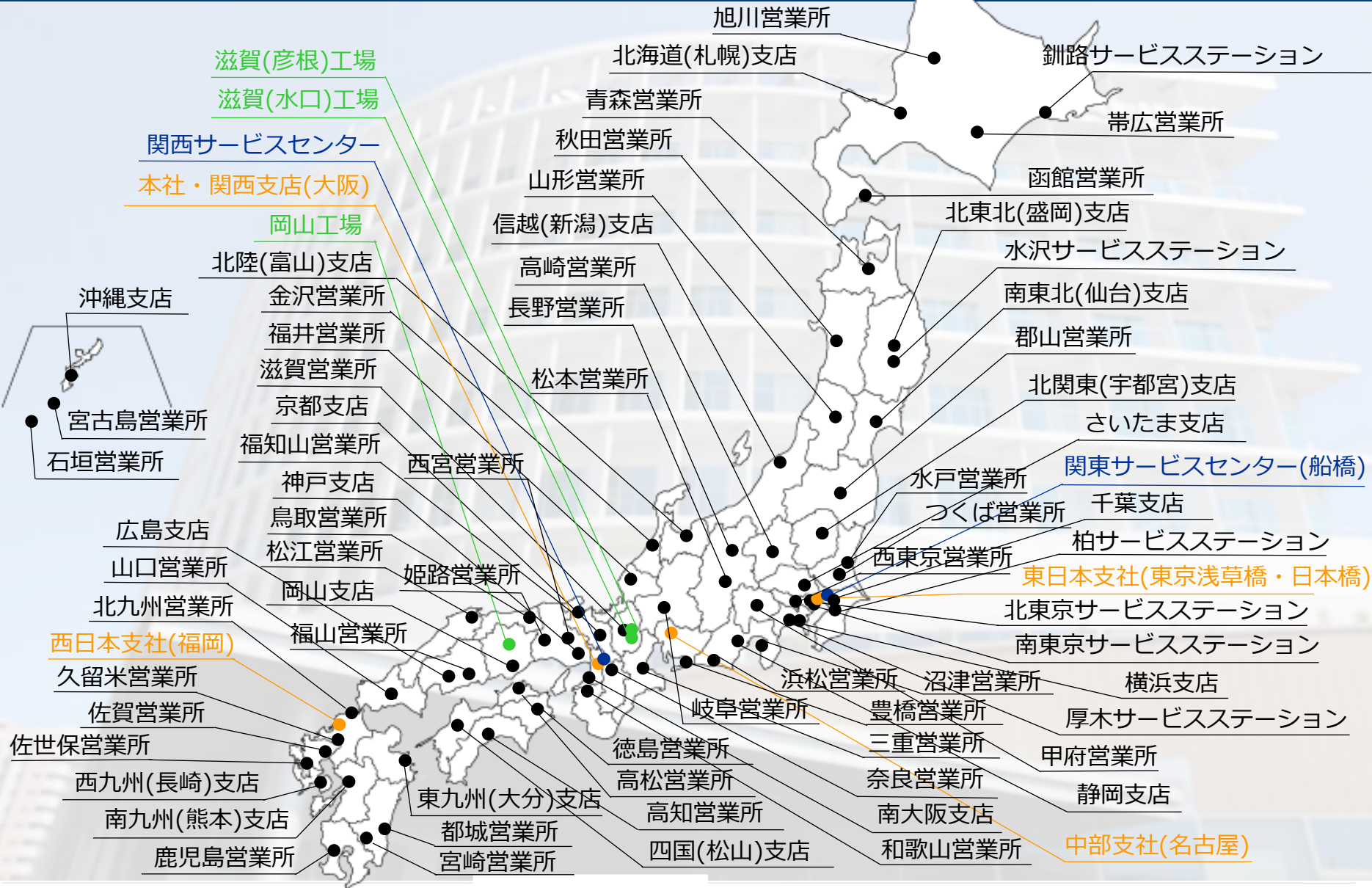
従業員:2205名（2021年3月末現在）準社員込

連結売上高：824億5千1百万円（2021年3月期）

連結経常利益：86億5千1百万円（2021年3月期）

上場：東証一部（プライム市場に移行予定）

# フクシマガリレイのネットワーク



# 事業の概要



**冷凍冷蔵  
ショーケース販売**



**冷凍冷蔵庫販売**



**医療・理化学  
製品販売**

環境・安全・安心をテーマに  
「幸せ創造企業」を目指します



**大型食品  
加工機械販売**



**大型パネル  
冷蔵設備販売**



**小型パネル  
冷蔵設備販売**

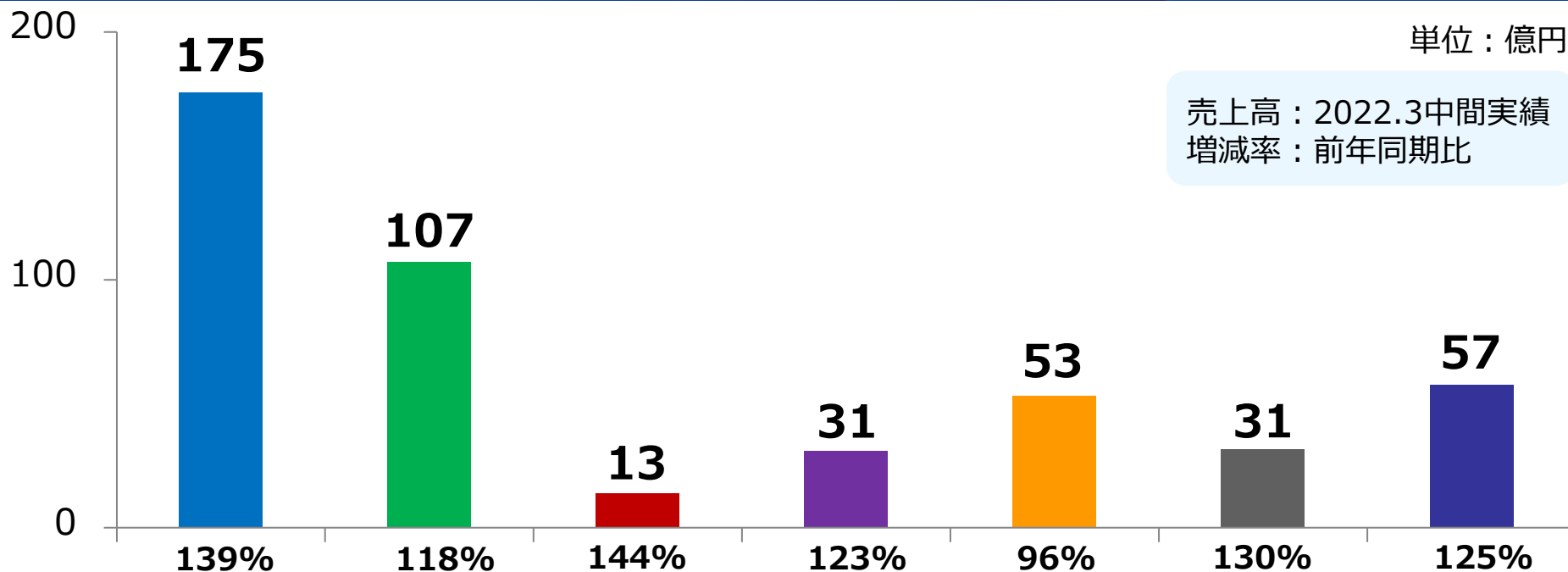


**サービス販売**

# 事業の概要

単位：億円

売上高：2022.3中間実績  
増減率：前年同期比



冷凍冷蔵ショーケース販売	冷凍冷蔵庫販売	医療・理化学製品販売	大型食品加工機械販売	大型パネル冷蔵設備販売	小型パネル冷蔵設備販売	サービス販売
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンショーケース</li> <li>・リーチインショーケース</li> <li>・RO水機器</li> <li>・ショーケース設備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用業務用冷凍冷蔵庫</li> <li>・製氷機</li> <li>・玄米保冷庫</li> <li>・プラスチックラー</li> <li>・厨房設備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬用保冷庫</li> <li>・低温インキュベーター</li> <li>・メディカルフリーザー</li> <li>・超低温フリーザー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネルフリーザー</li> <li>・食品工場の自動化設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型パネル設備工事</li> <li>・大型プレハブパネル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型パネル設備工事</li> <li>・小型プレハブパネル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース、トンネルフリーザーのメンテナンス</li> </ul>

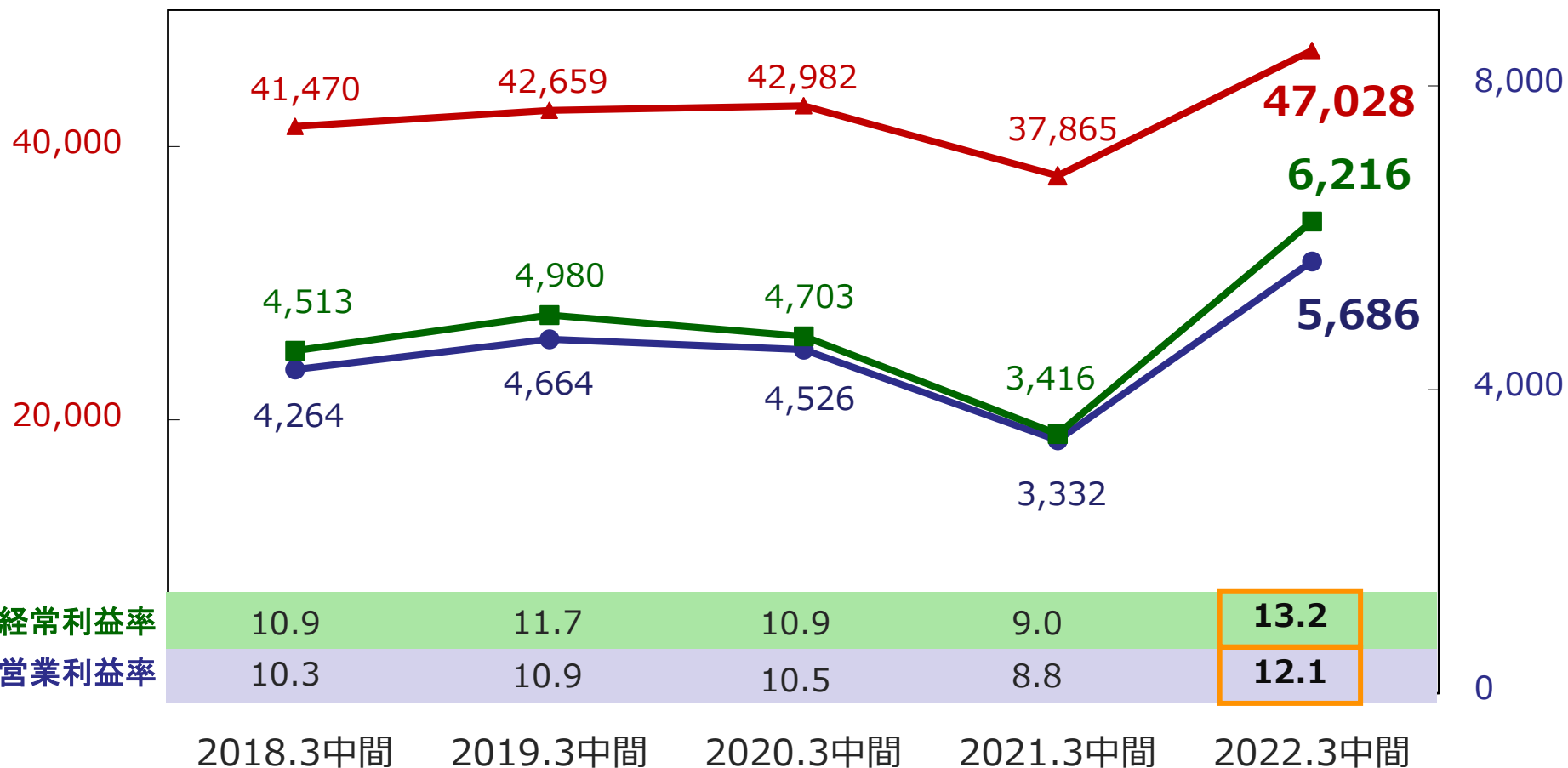
# 事業の概要

## 業績推移（連結）

▲売上高      ●営業利益      ■経常利益

売上高（百万円）

営業利益（百万円）



# 2022年3月期中間決算のポイント

スーパーの改装需要やドラッグストアの郊外出店により冷凍冷蔵ショーケース販売が、メディカルフリーザーや薬用保冷庫の需要増加により医療・理化学製品販売の売上が伸長。

外食店がメイン顧客の冷凍冷蔵庫はテイクアウトの増加でブラストチラーやドウコンディショナーの売上が増加。ファーストフード向けも好調。

売上高は、大型パネル冷蔵設備販売以外は全て増収。大型パネル冷蔵設備販売では、大型物件の施工が下期に集中しており微減。



# 2022年3月期中間業績概要

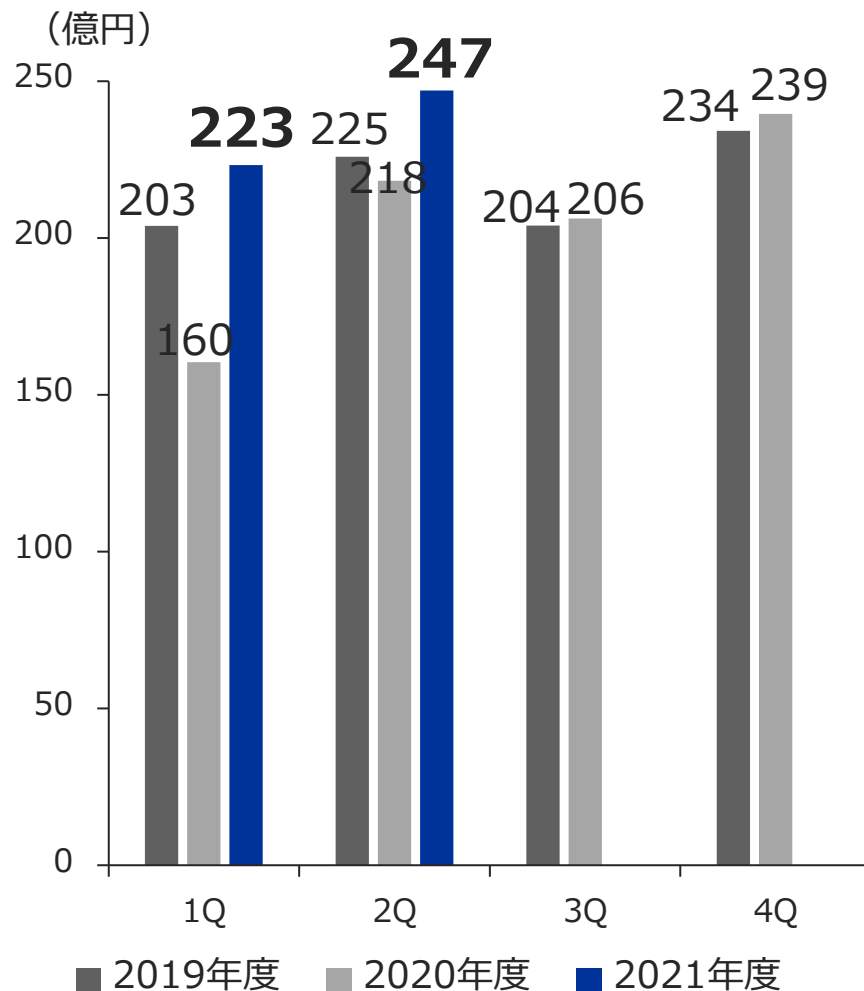
## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

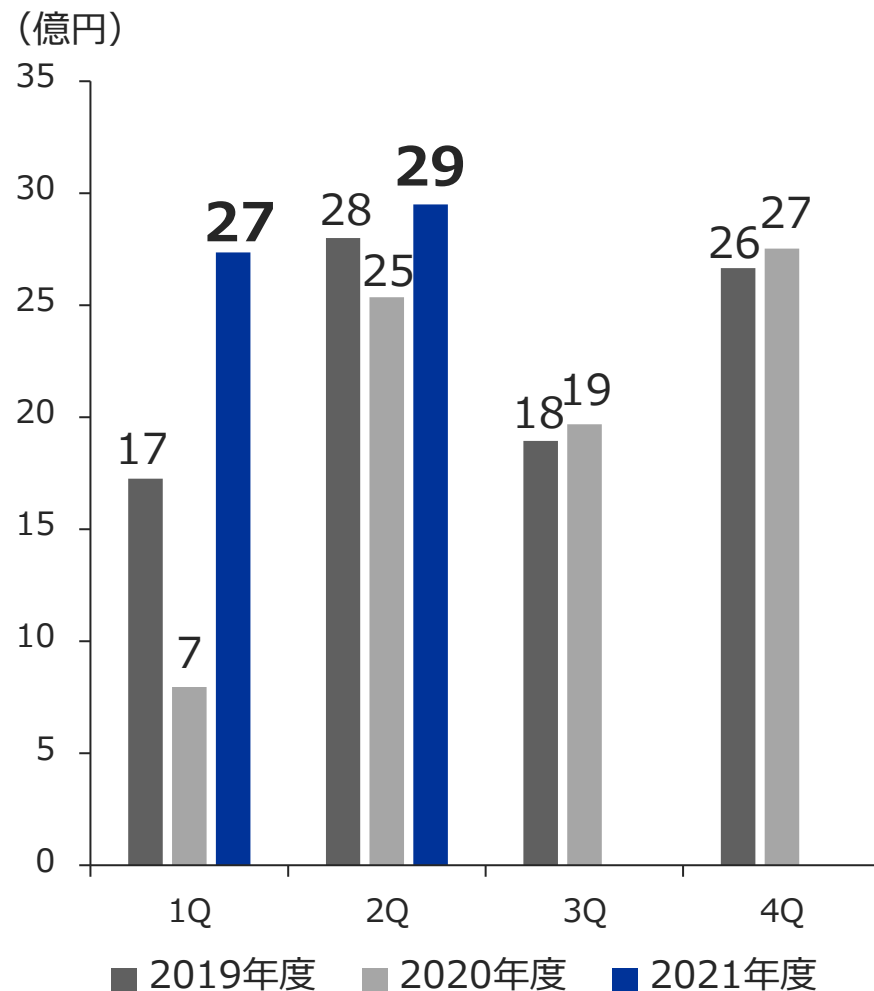
	2020年 3月期中間	2021年 3月期中間	2022年 3月期中間	前々年比	前年比
売上高	42,982	37,865	<b>47,028</b>	109.4%	124.2%
売上原価	31,730	27,920	<b>34,256</b>	108.0%	122.7%
売上総利益	11,252	9,944	<b>12,772</b>	113.5%	128.4%
販売費及び 一般管理費	6,726	6,612	<b>7,086</b>	105.4%	107.2%
営業利益	4,526	3,332	<b>5,686</b>	125.6%	170.6%
経常利益	4,703	3,416	<b>6,216</b>	132.2%	182.0%
親会社株主に帰 属する 当期純利益	3,355	2,227	<b>4,348</b>	129.6%	195.2%

# 2022年3月期業績概要（四半期比較）

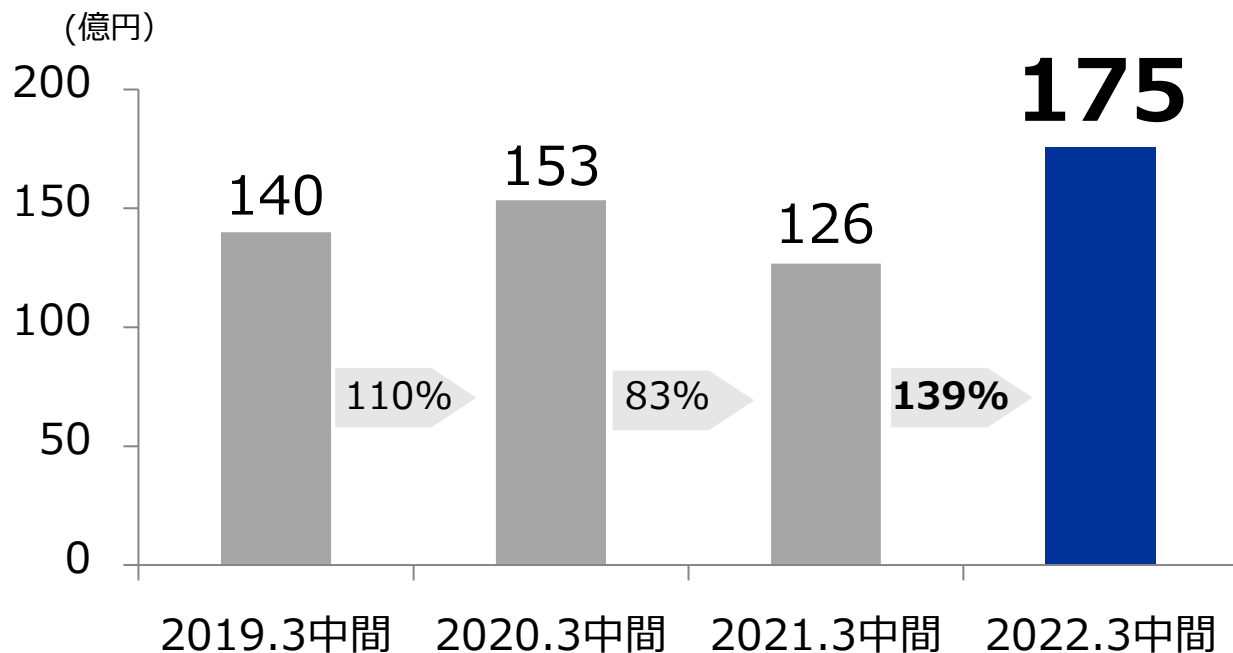
## 売上高



## 営業利益



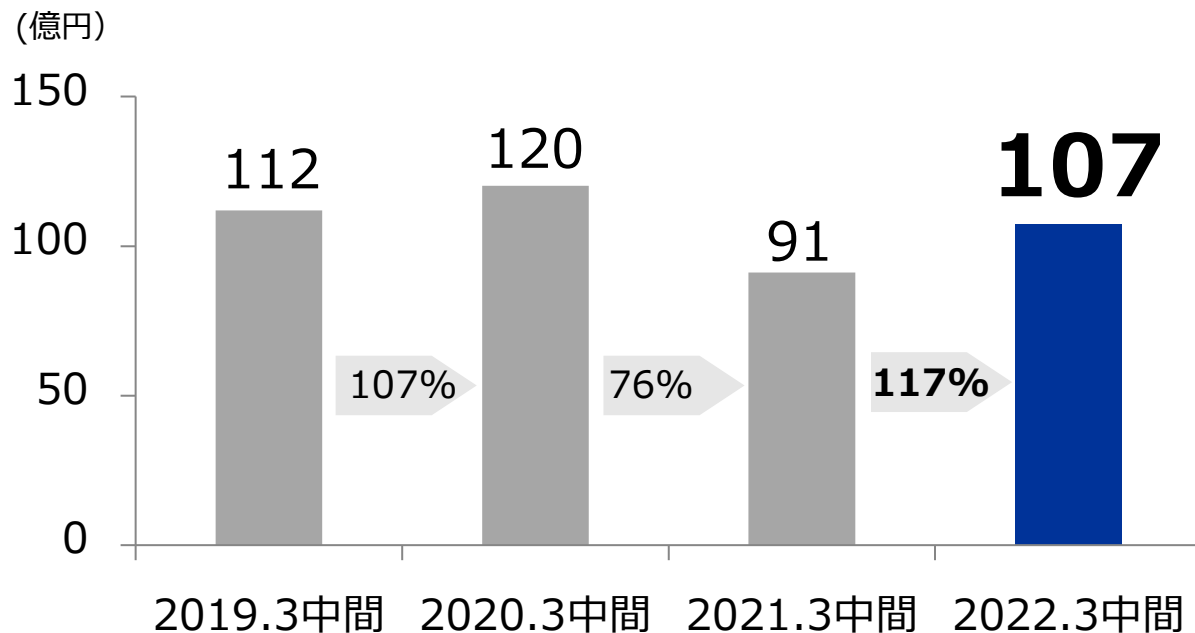
# 冷凍冷蔵ショーケース販売売上高推移



## 冷凍冷蔵ショーケース販売 売上増の要因

- ・業績好調なスーパーマーケットなどでの改装需要が増加
- ・ドラッグストアの郊外出店、コンビニエンスストアの改装案件が増加

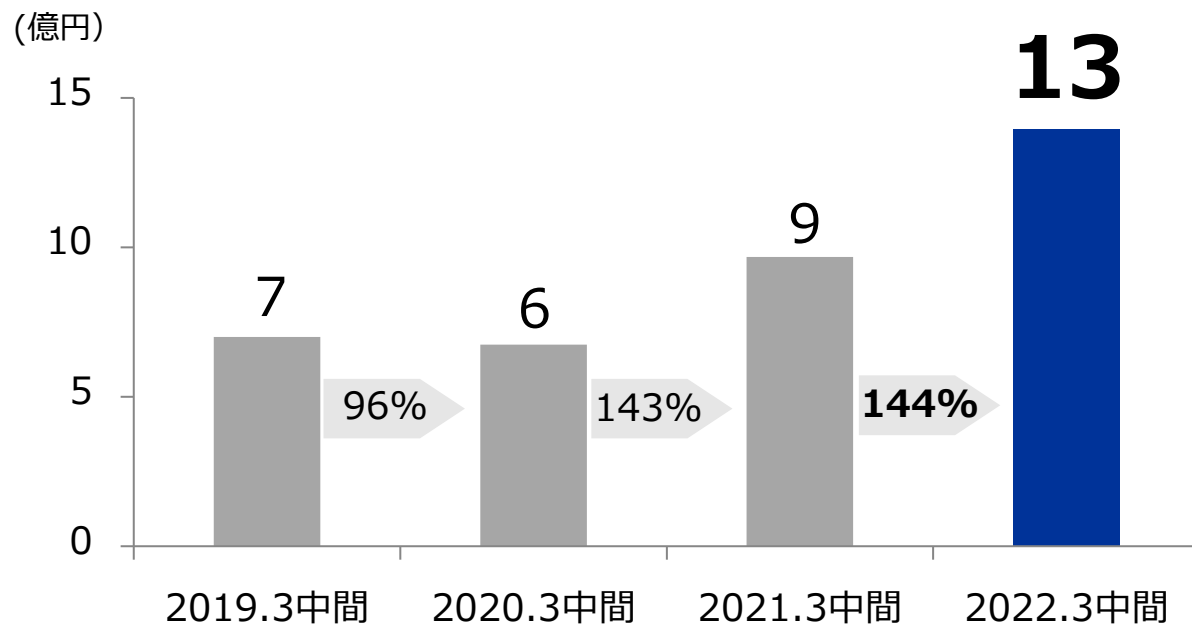
# 冷凍冷蔵庫販売売上高推移



## 冷凍冷蔵庫販売 売上増の要因

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるテイクアウトの増加に伴い、ブラストチラーやドゥコンディショナーの売上が増加
- ・ファーストフード向けなどの販売も堅調に推移

# 医療・理化学製品販売売上高推移

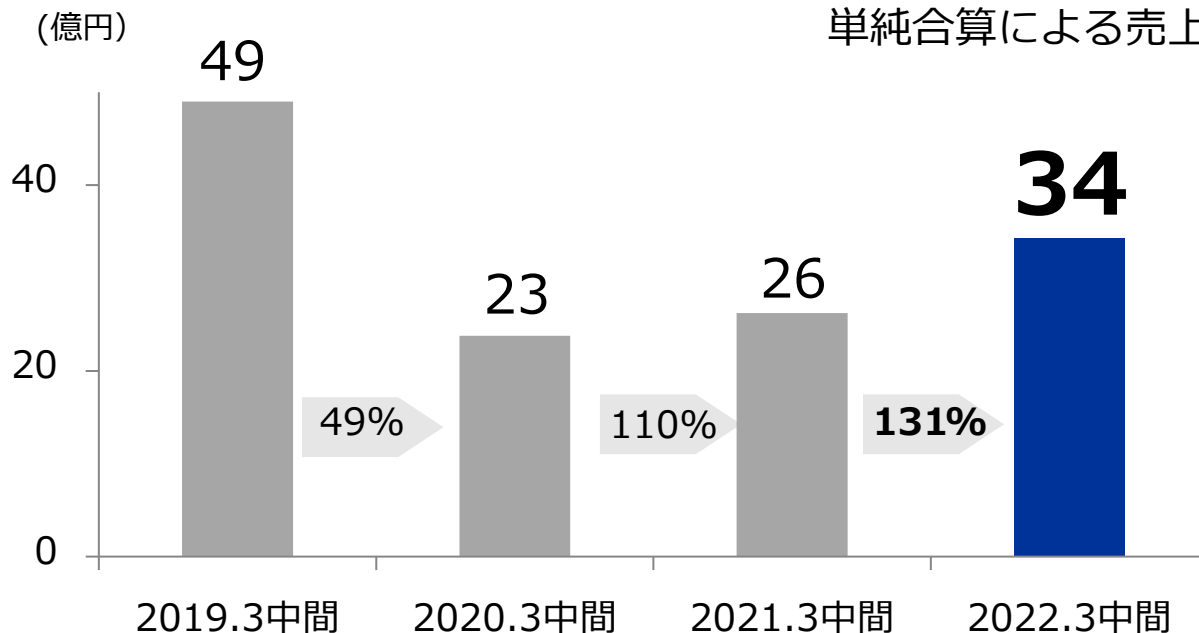


## 医療・理化学製品販売 売上増の要因

- ・ 新型コロナウイルス感染症の関連需要として、病院・クリニック向けにメディカルフリーザーや薬用保冷庫の売上の増加
- ・ 再生医療等の研究施設向けの販売が堅調に推移

# 大型食品加工機械販売売上高推移

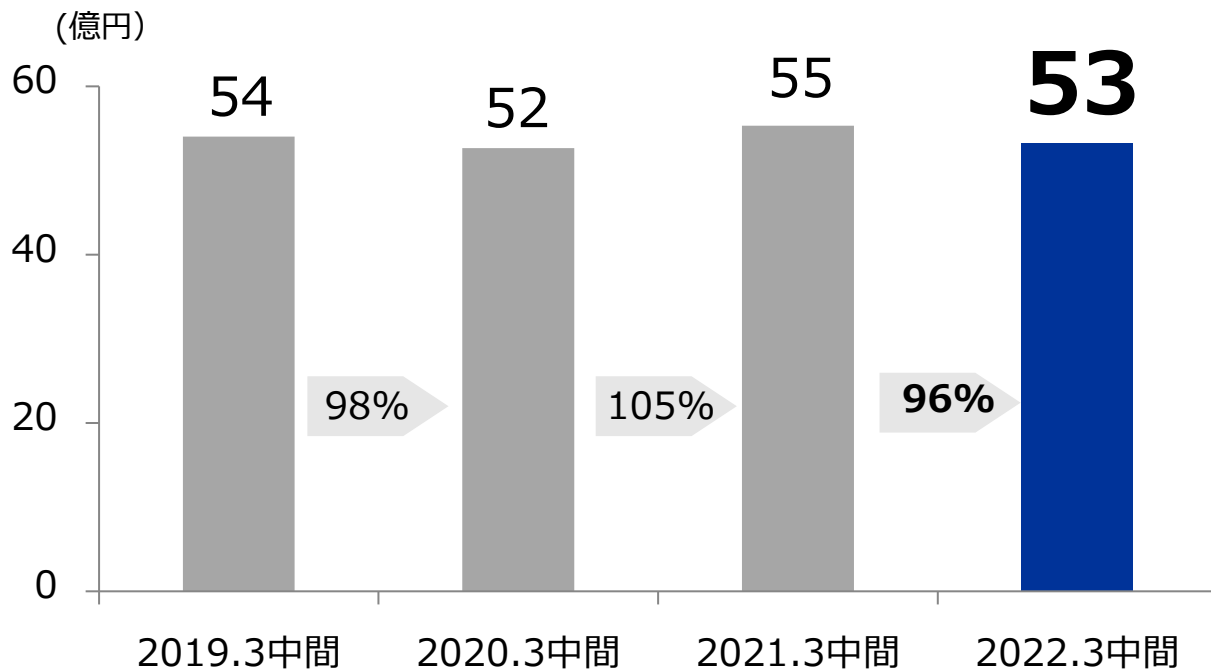
単純合算による売上推移



## 大型食品加工機械販売 売上増の要因

- ・引き続き食品メーカーなどの設備投資意欲が回復傾向
- ・冷凍食品やチルド弁当などの需要増加

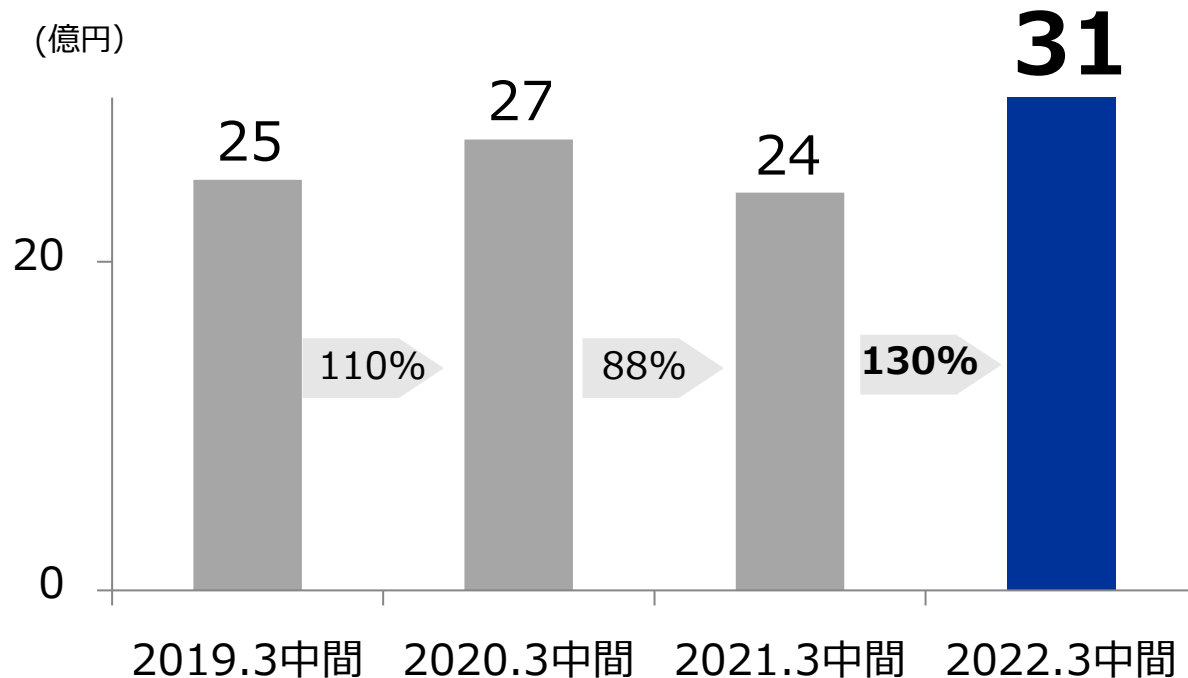
# 大型パネル冷蔵設備販売売上高推移



## 大型パネル冷蔵設備販売 売上減の要因

- ・ 物流倉庫関係などの引き合いや受注は多くあるものの大型物件の施工が下期に集中
- ・ スーパーマーケットのプロセスセンターなどの売上が減少

# 小型パネル冷蔵設備販売売上高推移

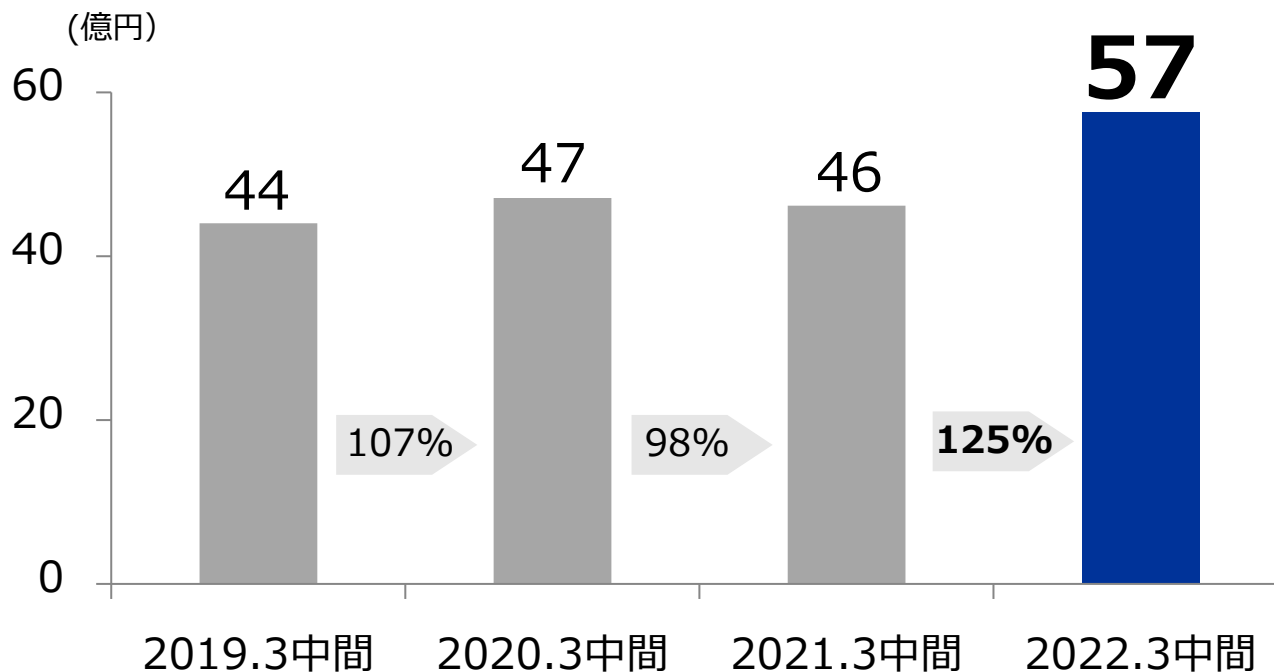


## 小型パネル冷蔵設備販売 売上増の要因

- ・ スーパーマーケットにおいて  
店舗の改装需要に伴った受注が増加



# サービス販売売上高推移



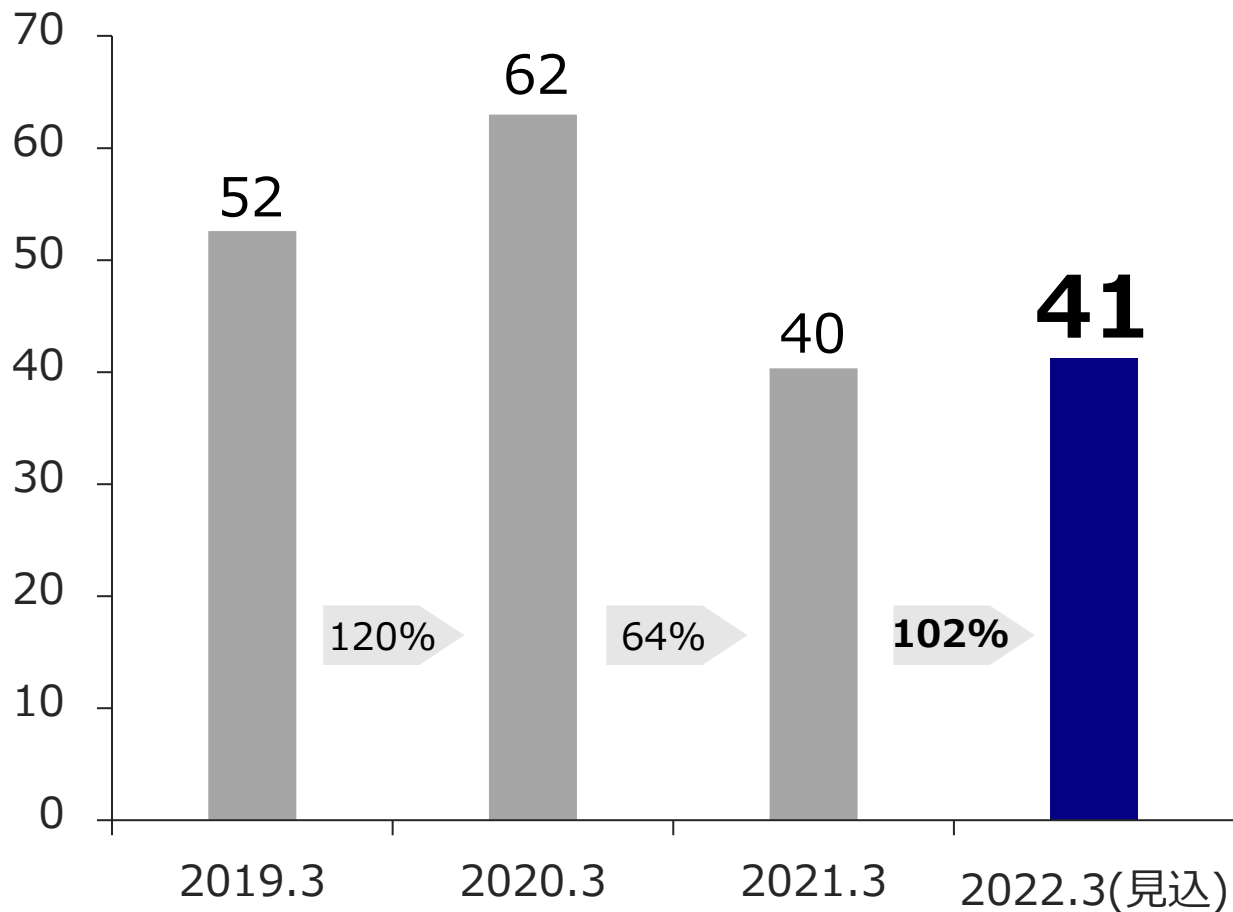
## サービス販売 売上増の要因

- ・スーパーマーケットやドラッグストア向けのメンテナンス売上が堅調に推移
- ・トンネルフリーザーのメンテナンス売上が好調に推移
- ・飲食店向けのメンテナンス売上も前年より増加

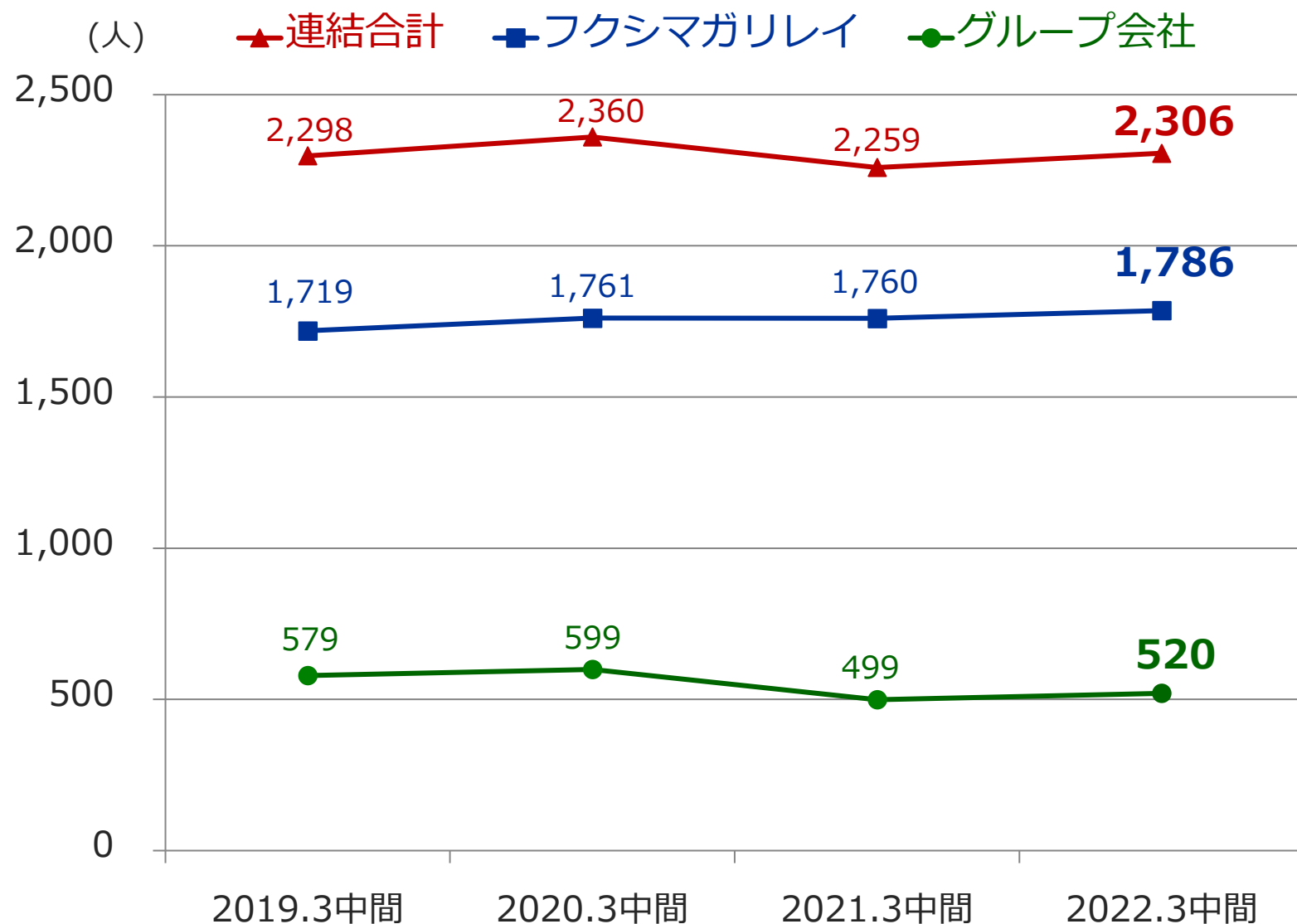
# 海外事業売上高推移

単純合算による売上推移

(億円)



# 人員推移表（連結）



# Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

私たちが目指すサステナビリティは、生産からテーブルに並ぶまで

温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。

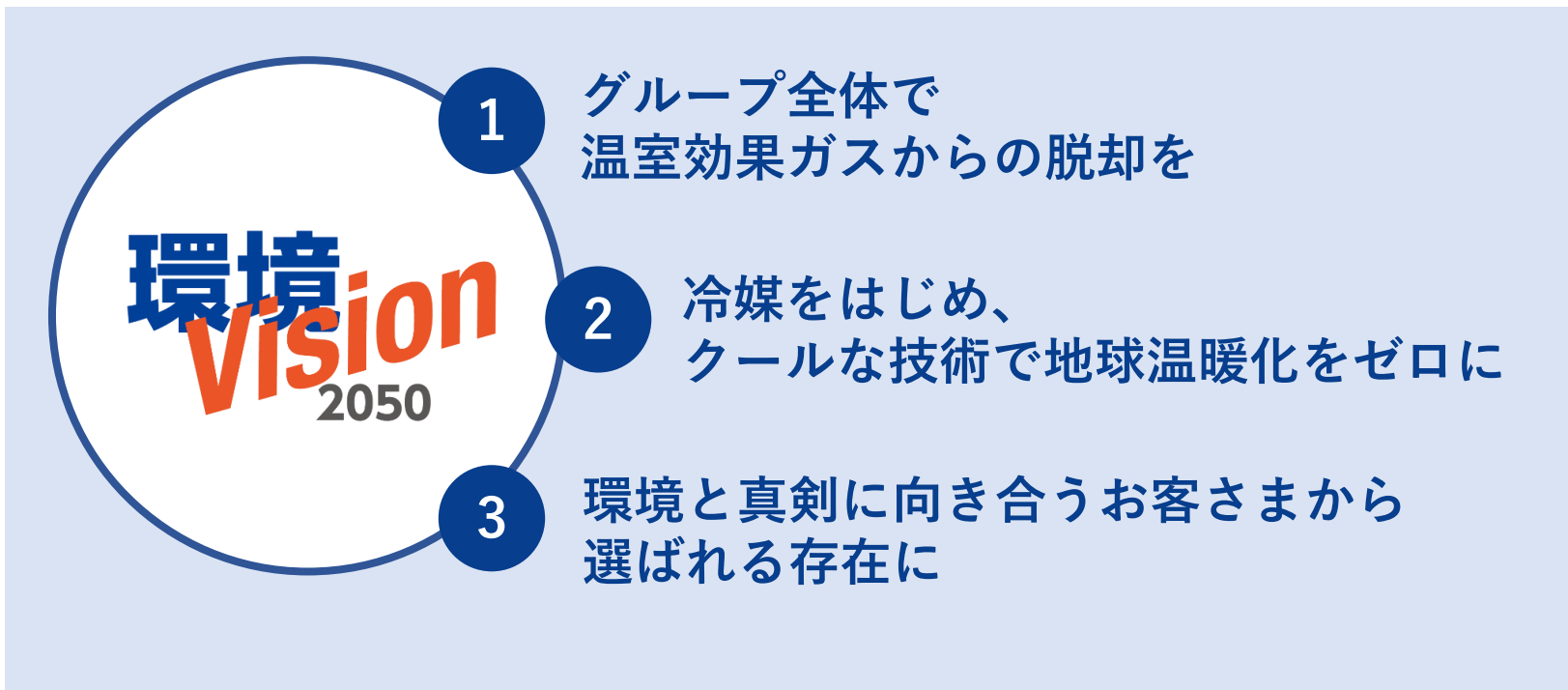
食といのちの未来のために、何があっても挑戦し続けます。

それが必ず、誰もがワクワクする未来を拓くと信じているからです。

# サステナビリティの取り組み

## 環境ビジョン2050

持続可能な地球環境を次世代に引き渡すことを目的に、  
2050年までの「**カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現**」に向け、  
「**環境ビジョン2050**」を掲げます。



# サステナビリティの取り組み

## 環境アクション2030

ガリレイグループが目指す4つの「環境アクション2030」



1. グリーン冷媒  
への転換

13 気候変動に  
具体的な対策を



3. 環境性能の高い  
製品を開発・提供



2. 冷媒ガス  
漏洩防止

環境  
Action  
2030

4. CO2排出量削減



## 冷凍冷蔵ショーケース販売

- ◆コロナ禍で食を支える地域No.1の食品スーパーを支援
- ◆全国の施工・メンテナンス体制を強化
- ◆スーパーマーケットやドラッグストアにおける  
全国カバー率の向上



## 冷凍冷蔵庫販売

◆コロナ禍での食生活の変化などによる  
ニューノーマルに対応した新製品開発・提案

◆新製品◆

限られたスペースしかない厨房にも導入できる  
小型のブラストチラー/ショックフリーザー

単相100V電源で-40℃での  
急速冷却・急速凍結が  
可能なコンパクトモデル100V





## 医療・理化学製品販売

- ◆ 製品のラインナップの拡充を行い、製薬会社、大学、研究機関への販売拡大とシェアアップ
- ◆ 再生医療の共同開発による売上の拡大

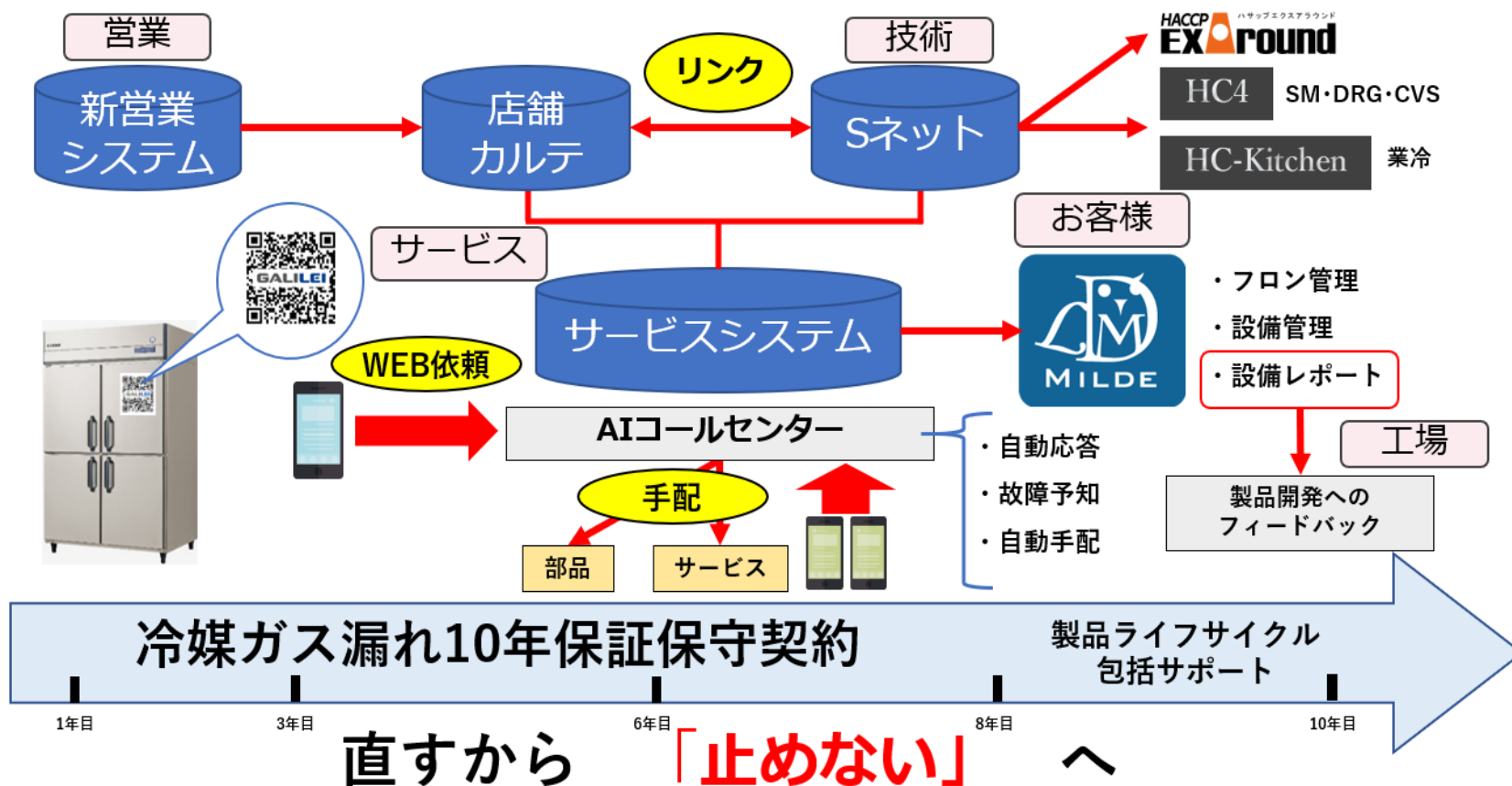
- ◆ 新製品  
検体や試料、医薬品等の保管に使用する  
超低温フリーザー新製品5機種追加

市場の要望にあったノンフロントタイプを中心にラインナップ



## サービス販売

- ◆ 予防・保全・維持管理するサービス  
お客様へ新しい付加価値を提供するZero Call Companyへ



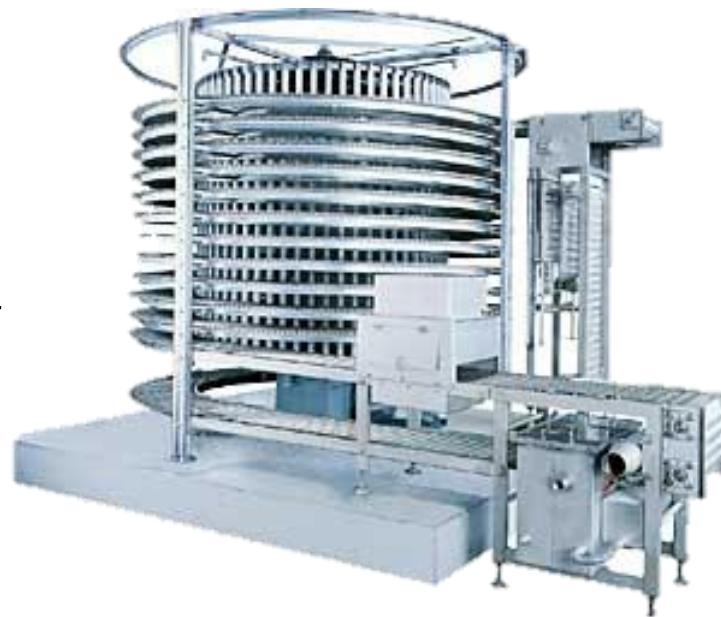
## 大型食品加工機械販売

◆コロナ禍により冷凍食品の需要増加により売上が好調

◆冷凍食品やチルド弁当をはじめとした食品メーカー向けのトンネルフリーザー等の製品開発・強化

◆海外案件への積極的なアプローチ

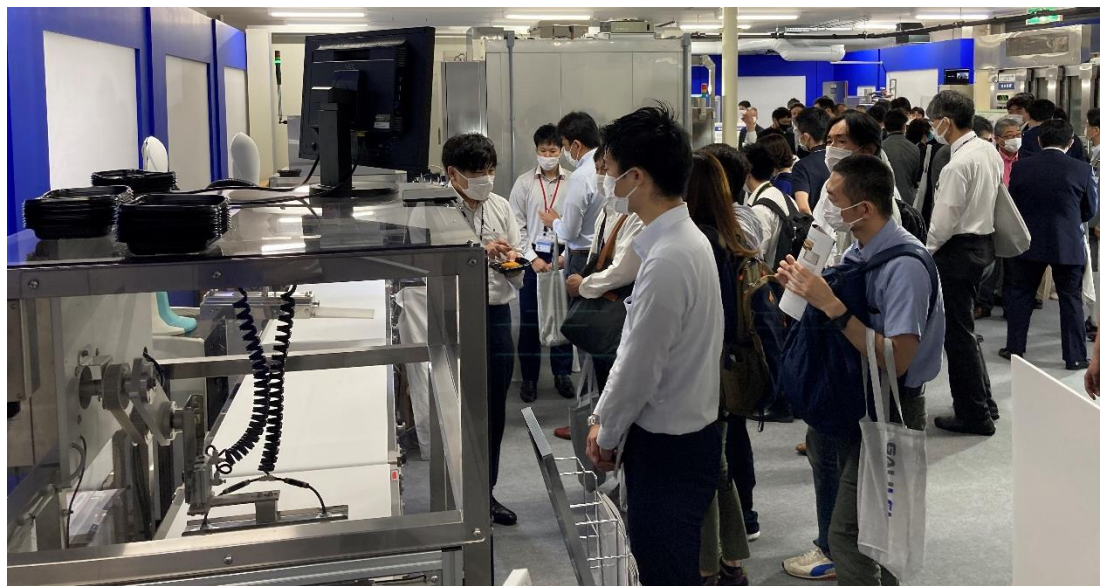
◆トンネルフリーザーをはじめとした製品開発・強化



## ◆ガリレイグループ プライベート展示会 2021/7/15-16

# GALILEI EXPO2021

食品工場やスーパーマーケット、厨房やシステムなどグループが提供する最新のエンジニアリングを来場者にご提案しました

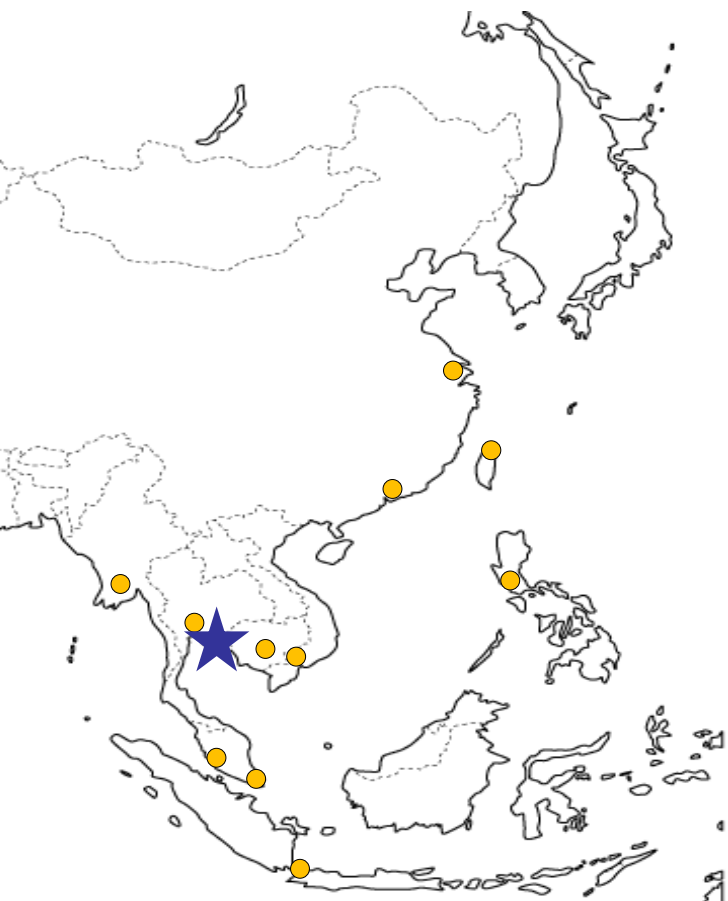


## 大型パネル冷蔵設備販売

- ◆コロナ禍により、ネットスーパーなどECサイト向けの倉庫や冷凍食品などの需要増加により、PCセンター、低温物流センターなどの大型物件の施工が下期に集中



## 海外事業



ASEAN中心に11カ所の販売拠点

◆タイ工場製品を核として、  
販売力・工事施工力・  
メンテナンス力の強化

◆コールドチェーンの中継地となる  
食品工場や低温物流倉庫などにも  
販売拡大

◆アジア各国のさらなる  
食の安全・安心に貢献

# コーポレート・ガバナンスの新たな取り組み(2021年)

株主の権利・平等性の確保	議決権電子行使プラットフォーム導入（2022年6月予定） 開示書類の必要情報の英文開示
株主以外のステークホルダーとの適切な協働	中核人材の多様性の確保への現状と目標を開示
適切な情報開示と透明性の確保	サステナビリティへの取り組みの開示 2021年6月「Dramatic Future 2050」策定 取締役の個人別の報酬等に係る決定方針を策定
取締役会の責務	独立社外役員を選任（取締役会11名中3名） 取締役スキルマトリックスの検討（2022年6月予定） 社外取締役の独立性基準を策定 グループ全体の内部統制、リスク管理体制の強化 コンプライアンスガイドラインの改訂
株主との対話	ディスクロージャーポリシーの策定

# 2022年3月期下期業績予想

## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	前々年比 (2020年比)	前年比 (2021年比)
売上高	43,818	44,586	<b>45,726</b>	104.4%	102.6%
売上原価	32,255	32,840	<b>34,083</b>	105.7%	103.8%
売上総利益	11,563	11,746	<b>11,643</b>	100.7%	99.1%
販売費及び 一般管理費	7,002	7,023	<b>7,362</b>	105.1%	104.8%
営業利益	4,561	4,722	<b>4,280</b>	93.8%	90.6%
経常利益	4,742	5,234	<b>4,354</b>	91.8%	83.2%
親会社株主に帰 属する当期純利益	2,870	4,072	<b>3,242</b>	113.0%	79.6%



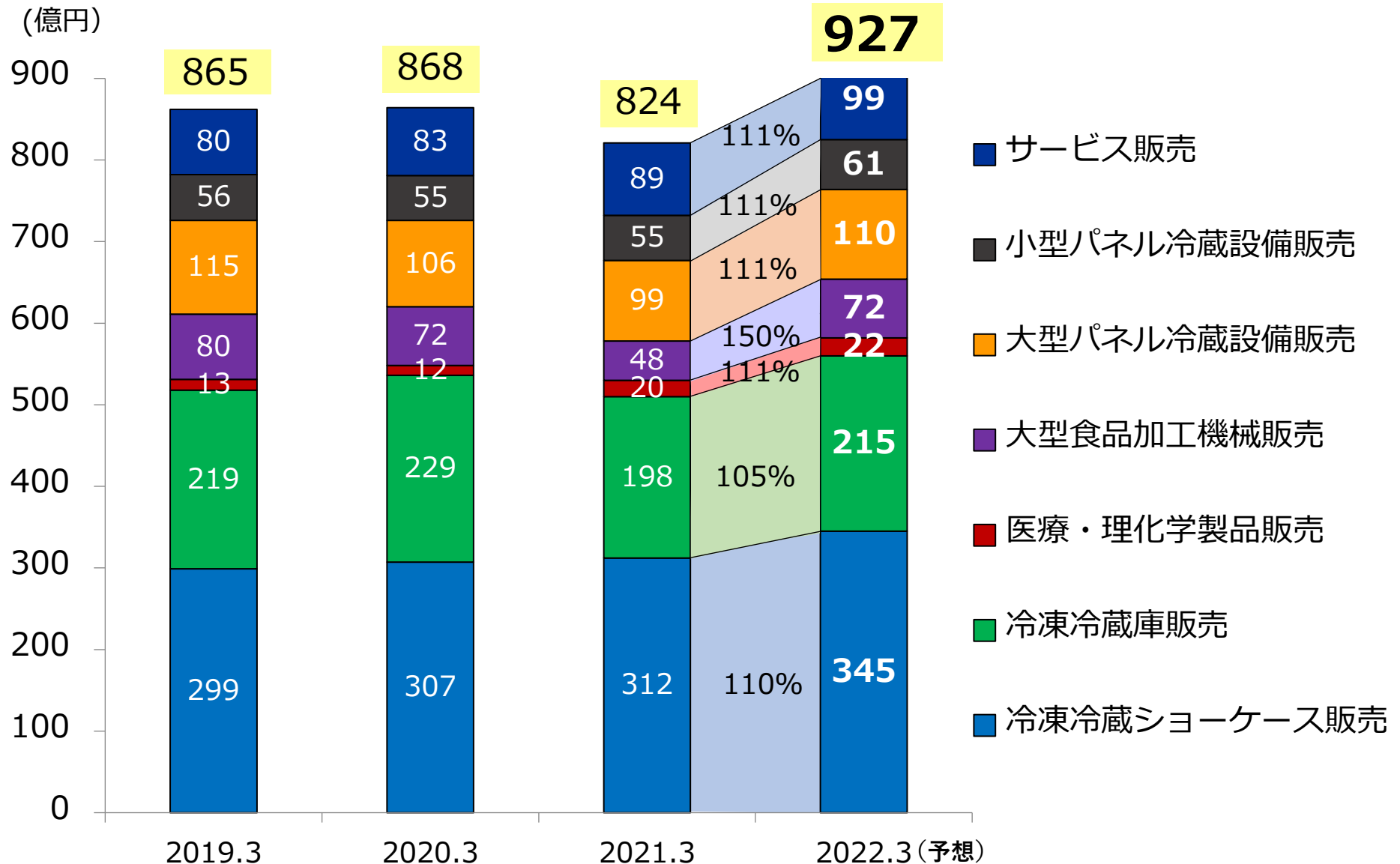
# 2022年3月期通期業績予想

## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	前々年比 (2020年比)	前年比 (2021年比)
売上高	86,801	82,451	<b>92,755</b>	106.9%	112.5%
売上原価	63,985	60,761	<b>68,339</b>	106.8%	112.5%
売上総利益	22,816	21,690	<b>24,415</b>	107.0%	112.6%
販売費及び 一般管理費	13,728	13,635	<b>14,448</b>	105.2%	106.0%
営業利益	9,087	8,054	<b>9,966</b>	109.7%	123.7%
経常利益	9,446	8,651	<b>10,570</b>	111.9%	122.2%
親会社株主に帰 属する当期純利益	6,226	6,299	<b>7,590</b>	121.9%	120.5%

# 2022年3月期通期業績予想



# GALILEI

## Be cool, Be alive.

フクシマガリレイ株式会社 総務部 経営企画G

TEL : 06-6477-2011

当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。

実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。